

やまなみ

2016
夏
vol.15



写真提供:木下繁淑さん「御柱祭」



西駒郷
まつば支援課利用者 木下繁淑さん
写真撮影が趣味という木下さん。6年前の「やまなみvol.3」でも紹介させていただきましたが、今年の「御柱祭」で撮影した写真を表紙にご提供いただきました。今回は観覧席から法被を着て撮影をされたとのこと。賑やかな祭りの雰囲気伝わってきます。

「長野県社会福祉事業団第3次長期構想」の策定があります。平成29年度から平成33年度の5年間の経営の方向付けをする羅針盤となるため、策定にあたっては外部環境の変化や内在する各種の課題を的確に捉え、その解決が図れるものとなるように努めてまいります。

本年度の主な事業といたしまして、「長野県社会福祉事業団設立50周年を迎えることができ、本年度は、新たな半世紀の船出となることから職員一同決意を新たにスタートしたところでです。」

さて、平成28年度も既に数か月が経過しました。昨年度は事業団設立50周年を迎えることができ、本年度は、新たな半世紀の船出となることから職員一同決意を新たにスタートしたところでです。本年度の主な事業といたしまして、「長野県社会福祉事業団設立50周年を迎えることができ、本年度は、新たな半世紀の船出となることから職員一同決意を新たにスタートしたところでです。」



新たな半世紀の船出

長野県社会福祉事業団 事務局長 塩沢総夫

今年梅雨明けが遅れ、うっとうしい日々が続いていたところ、7月26日の早朝に国民を震撼させるニュースが飛び込んでまいりました。神奈川県内の障害者支援施設で発生した殺傷事件です。大勢の利用者が亡くなられたことに、人々は一様に大きなショックを受けました。共生社会を実現すべく、国を挙げた取り組みが進められている最中のできごとであり、本当に残念です。亡くなられた利用者及び家族の皆様へ衷心より哀悼の意を表しますとともに、施設関係者の皆様が一日も早く平安を取り戻せることを願っています。

その他、地域ニーズに応えるために保育士資格取得やひとり親家庭の支援等を目的とする新たな資金貸付事業を受託したり、障がいのある方の作品公募展「サワメキアート」を開催します。

【特集記事】

第5回 駒ヶ根高原ふくしセミナー開催!!

【連載記事】

事業所リレートーク

チャレンジ・アクション

信濃学園「こまくさ教室」

～家庭での療育に活かせるヒントを得ていただくために～

つれづれ福祉

高齢知的障がい者支援に関する調査報告

平成28年度組織概要／平成28年度事業計画・収支予算書
平成27年度事業報告・収支決算書／人事異動／プレゼントほか

第5回 駒ヶ根高原ふくしセミナー開催!!



長野県では、平成16年3月の「西駒郷基本構想」策定を機に、全県的に入所施設利用者の地域生活移行が進められました。

しかし、当事業団が独自に行った「グループホーム調査・検証事業」では、「休日はテレビ・ラジオ等で過ごす」、「夕食後はお風呂に入って寝るだけ」といったように、地域生活移行後、「暮らしの中身が乏しい」という傾向が明らかとなりました。

そこで事業団では「第2次長期構想（H24～28年度）」において、障がい者の「文化的暮らし」定着を目指し、当事者参加型セミナーを5年間毎年開催していくこととしました。

イベント	開催月日	内容
高原セミナー準備プロジェクト設置、セミナー開催に向けた検討	平成20年4月～	コンセプトを「学ぶ」「交わる」「楽しむ」に決定し、セミナー開催に向けた準備を進める
駒ヶ根高原ふくしセミナープレイバント開催	平成23年10月22日(土)～23日(日)	「グループホーム調査・検証事業報告会」のほか「ワークショップ」「第1回信州駒天駅伝大会」等の各種イベントを開催
第1回 駒ヶ根高原ふくしセミナー	平成24年10月20日(土)～21日(日)	2日間の宿泊イベントとして、講演会、カラオケ大会等の各種イベント、夕食交流会を開催
第2回 駒ヶ根高原ふくしセミナー	平成25年7月12日(金)～13日(土)	平日を含めた2日間の宿泊イベントに変更。宮崎学氏の基調講演のほか、各種イベントを開催
第3回 駒ヶ根高原ふくしセミナー	平成26年6月27日(金)～28日(土)	Eテレでお馴染みのベニシア・スタンリー・スミス氏の基調講演、各種イベントのほか、特別企画として「信州のオール・プリユット展」を開催
第4回 駒ヶ根高原ふくしセミナー	平成27年6月26日(金)～27日(土)	原田泰治氏の基調講演、各種イベントを開催。なお、作品展同様、駅伝大会については別日程の特別企画とし「にしこま祭(10/17)」と同日に開催
第5回 駒ヶ根高原ふくしセミナー	平成28年6月25日(土)	全日程を1日に収めたコンパクトなセミナーとして開催。夕食交流会の料理は参加者の手作り(※駅伝大会は10/29に開催予定)(※作品展は他企画に併合)



第5回 駒ヶ根高原ふくしセミナー開催報告

午前の部

①報告会

「グループホーム調査・検証事業中間報告」
※詳細は次頁参照
報告/グループホーム調査・検証プロジェクト



②映画上映会

「アラヤシキの住人たち」
自然と調和した暮らしの中で「本来の豊かさ」のヒントを感じることができました。

午後の部

③カラオケのど自慢大会

普段のカラオケの成果を発揮! ゲストのステージも盛り上がりました。
ゲスト/並木ちよこ氏 (演歌歌手・駒ヶ根応援団)



④お料理教室

地元食材を使って料理を作り、「夕食交流会」で味わいました。



⑤フラワーアレンジメント教室

日々の暮らしに「花」を取り入れる方法を学ぶことができました。
講師/千葉清美氏
(上伊那地区にて定期教室開催)



⑥アートワーク

「夢の畑」をテーマに参加者全員で作品を仕上げました。
講師/橋本禪氏
(NPO法人ながのアートミーティングアートサポーター)



⑦釣りコンテスト

宮田村の釣り堀「黒川水産」での釣り大会。
釣り上げたマス、ヤマメ、イワナは夕食交流会でいただきました。



⑧夕食交流会

参加者は約100人。1日のイベントを振り返りながら親睦を深めました。



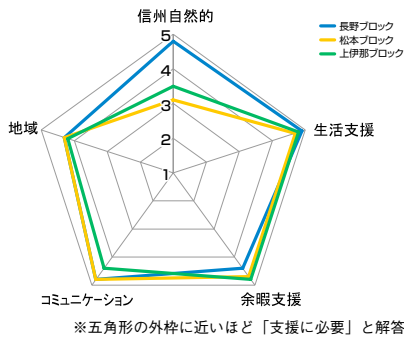
第3回「グループホーム調査・検証事業」中間報告会

中間報告概要

調査対象	調査数	備考
1. ホーム利用者	216人	事業団運営のGH利用者
2. 地域住民	259戸	GHの隣組住民
3. 世話人	161人	事業団職員
4. 民生児童委員	41人	GHを担当する民生児童委員
5. 事業団職員(new)	520人	週20時間以上勤務

- ・前回の提言内容に関する取り組みについては一部事業所で日々の暮らしに取り入れ始めているものの、聞き取り・アンケートの調査結果は前回から大きな変動がない。
- ・今回新たに行った「職員の意識調査」については「信州自然的暮らし」の創造に関する部分で各地域の意識に差が見られた。 ※GH=グループホーム

職員の意識調査(グループホーム関係事業所)



事業の経過と目的

当事業団では日本財団の助成を受け、過去2回のグループホーム調査・検証事業を実施しました。その結果「グループホームの生活に移行した利用者は入所施設での生活に比べて満足していること」が確認できた一方、「暮らしの中心(余暇)が乏しい傾向がある」等が明らかとなったため、「信州自然的暮らしの創造」をはじめ、4つの提言をまとめました。

1. 「信州自然的暮らし」の創造
2. コミュニケーションカード等を用い、本人が「選べる」環境を整える
3. グループホームを賃貸物件的に選べるスタイルにする
4. 平成26年度から順次グループホームの改修を進める

今後の方策

第3回目となる今回の事業は、前回事業の提言の浸透度を確認するための再調査を行い、暮らしの問題点や課題を改めて抽出したうえで、「積極的な暮らしづくり」の方策を今回のセミナーで提言することとしました。

職員や地域によって支援に対するイメージにばらつきがあることから、今回の調査報告をまとめた上で、事業団「第3次長期構想(日29~33年度)」の中にグループホームで暮らししている方たちがより豊かな生活を送れるよう提言を行い、事業団全体で支援の方策(意識)を統一していきたいと考えます。

グループホーム調査・検証プロジェクト
委員長 濱田琢也(本部事務局 企画課長)

5回の「駒ヶ根高原ふくしセミナー」を開催して

事業団ではプレイベントも含めると平成23年度から平成28年度までの6年間、障がい者の「文化的暮らし」定着を目指して、「学ぶ」「交わる」「楽しむ」をコンセプトに当事者参加型セミナーを開催してきました。

そして、それぞれのイベント参加を通じ「趣味・生きがいのある暮らしを実践し始めた」という事例も耳にしています。例えば「信州駒天駅伝大会」に参加された方が地元のマラソン大会に参加したり、「カラオケのど自慢大会」に向け日々カラオケの練習をしたり…。また、参加者からは「次のセミナーが楽しみだ」といった声も聞かれており、そういった意味では「学ぶ」「楽しむ」のコンセプトは達成できたのかもしれない。

しかしながら「交わる」の部分については、主催者として課題を残します。

当初計画では、このセミナーは「全国規模」で「地域生活移行」、そして「その暮らし」を発信していくことを視野にいれていたのですが、マンネリ化が進み、上伊那地区限定、さらには事業団関係者が大半を占めるイベントとなり始めています。地域住民を巻き込んで「交わる」には、県内それぞれの事業所を拠点とした取り組みの方がより効果的であるかもしれません。

事業団では「高原セミナー実行委員会」で過去の取り組みに関する検証を踏まえ、「障がいのある方の豊かな暮らしづくり」に向けた支援策について、現在検討を進めているところだ。(中村)

主な論点について(案)

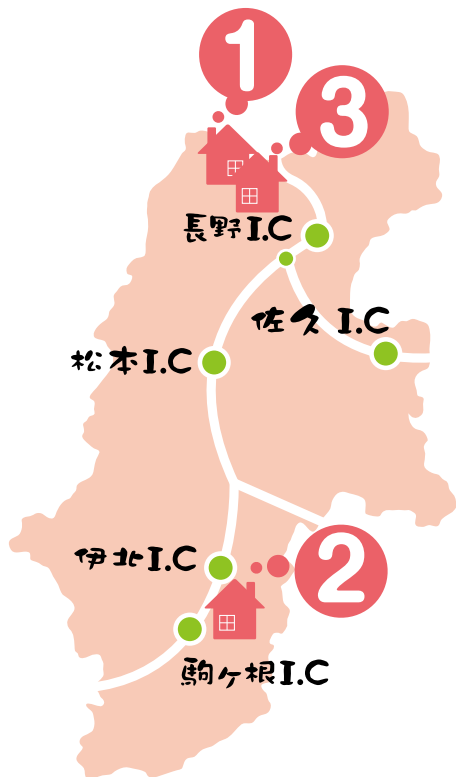
1. 提供するサービスについて
 - ・県立施設としてどのようなサービスを提供する必要があるか
 - ・県立施設と民間施設の役割分担をどのように考えるか
 - ・障がい児入所施設からの円滑な受入れをどのように行っていくか
2. 施設入所者の支援方法について
 - ・高齢化や重度化にどのように対応していくべきか
 - ・看取りの問題にどのように対応していくべきか
3. 今後の地域生活移行について
 - ・重度の障がい者の地域生活移行をどのように行っていくか
4. 施設整備について
 - ・最適なサービス提供のためにどのような整備が必要か
5. その他
 - ・その他に県立施設として対処すべき課題はあるか

「長野県西駒郷あり方検討会」始動

長野県西駒郷の今後の障がい者支援施設としてのあり方及び方向性を検討するため、有識者等により構成する「長野県西駒郷あり方検討会(以下「検討会」と表記)が平成28年6月に設置され、第1回目の検討が行われました。

この検討会は過去2回設置されており、この検討結果が「西駒郷基本構想」に繋がりました。

第1回目の論点(案)は左記のとおりですが、今後の事業団、ひいては長野県の障がい者福祉を左右する内容でもあるため、進捗があり次第本紙でも紹介させていただきます。



① みのちグループホームセンター

保健の取り組み ～高齢者が“幸齢者”となるように～



みのちグループホームセンターはH8年より水内荘の利用者中心に地域生活移行を開始し、現在14か所のグループホームで68名の利用者（年齢は23歳から80歳の方）が生活しています。利用者全体に占める65歳以上の割合が半数以上となり、高齢知的障がい者支援のあり方が問われています。健康面に関しては、H17年より食材の一括調達により栄養管理を行い、糖尿病はじめ生活習慣病予防に取り組んでいます。また、1年に1回、人間ドックを受け、病気の早期発見・治療に取り組んでいます。グループホームの世話人との引き継ぎや支援、健康面での状況把握、また障がい特性や、病気・薬の理解を深めるため、2ヶ月に1回保健訪問を実施して健康保持に努めています。救急法や感染症時の処置対応の仕方等も実施し、利用者の緊急時の対応に備えています。みのちグループホームセンター利用者は事業団の中でも高齢化が最も進んでおり、健康を保ちつつ高齢者が“幸齢者”となるよう健康面での応援ができればと考えています。

(阿藤)



② 伊那ゆいま～る

～生活介護チームによる創作活動の取り組み～

伊那ゆいま～るでは毎年、上伊那郡南箕輪村にある『コーヒー&ギャラリー なごみの樹』さんに、創作活動で作った作品を展示させていただいています。年に2回、夏は個別の作品、秋は利用者の皆さんで作成した大きな作品を展示しています。絵画や習字のほかに、編み物の作品も展示しています。うねりのあるユニークな形を生かした作品に仕上がっています。このような場で展示させていただくことにより、活動をしている利用者の方の励みになっています。



今年の夏は7月の前半に書道、後半には絵画を飾らせていただきました。展示期間中は「なごみの樹」へ出掛け、自分たちの作品が展示されている様子を見に行きました。自分の作品を鑑賞しながらいただく本格的なコーヒーはまた格別です。「我ながらよく描けているなあ」なんておっしゃる方も。

今年秋の展示は11月を予定しています。ゆったりとした喫茶店で、アートを楽しみながらお茶なんていかがでしょうか。力作ばかりですので、ぜひ展示期間中にお越しください。

(山岸)

「コーヒー&ギャラリー なごみの樹」

<http://nagominoki.com/>

③ 長野県障がい者福祉センター「サンアップル」

～水面の輪のように広げたい…交流の輪～

「サンアップル」はスポーツ、レクリエーション、文化芸術活動等を通じて、障がいのある方の健康増進と社会参加の促進を図っております。今回は文化芸術活動について、ご紹介いたします。



文化芸術活動は、日頃の活動成果を発表する機会提供として「障がい者文化芸術祭」や「障がい者文化芸術発表会」「造形作品展示」等の開催、活動のスキルアップ及び参加者相互の交流を目的に絵画・音楽等の教室事業を実施しております。



私たちとしては、活動をおとして、障がいのある方の生活がより充実すること、障がいのある方・ない方の枠をこえた交流、ひいては地域社会における障がい理解となることを目指しております。今後とも多くの皆さんにご参加いただけるイベント・教室を開催していきたいと思っております。

なお、今年度より新たに「ザワメキアート～信州の障がいのある人の表現とアール・ブリュット～」を開催します。詳細は最終ページ「トピックス」をご覧ください。

(薬袋)

各事業所におけるさまざまな「チャレンジ」を紹介するコーナーです。

チャレンジ・アクション

信濃学園「こまくさ教室」

家庭での療育に活かせるヒントを得ていただくために

こまくさ教室って

こまくさ教室は、在宅障がい児の福祉の向上を図ることを目的として、長野県が昭和60年4月から運営を開始した母子短期療育事業を前身とする療育相談事業です。

かつては宿泊設備のある専用棟で3泊4日の日程の中、子どもの生活習慣の確立を援助しつつ、保護者へは在宅療育に必要な助言指導を行うなど、総合的な療育指導を実施していました。



教室の様子

現在は

市町村の相談事業の充実により宿泊を伴わない療育相談事業となり、長野県社会福祉事業団が指定管理を受託した以後も継続して実施しています。

年8回、そのうち長野市と駒ヶ根市で1回ずつ巡回相談を行っています。

言語・生活・運動・歯科・自閉症・発達障がい等に関する保護者の疑問や悩みについて経験豊富な専門家（言語聴覚士・理学療法士・作業療法士・歯科医師など）が無料で直接相談に応じています。

何年も継続して参加していただいている方もいて、参加者からは「親身になって話を聞いてもらえる」「良いアドバイスをもらえる」「子育てに前向きに取り組めるようになった」等のお言葉をいただいています。



こまくさ教室の公開講座

こまくさ教室の一環として、障がいのある子どもを支える家族や支援者、地域住民等を対象に、地域での子育てに関する講座を年に1回開催しています。

「勉強になった」「参考になった」「分かりやすかった」と毎年多くの方が参加されています。



今年度の予定

こまくさ教室は、12月まで毎月実施します。詳しい日程等は信濃学園ホームページをご覧ください。

公開講座は、平成29年3月4日（土）キッセイ文化ホールにて開催します。講師として安住ゆう子先生（フットローLD発達相談センターかながわ所長）をお招きして、発達障がいを持つ児童への効果的な支援方法について講演していただく予定です。多くの方のご参加をお待ちしております。


（宮島・小出）

公開講座の様子



知的障がい者等 退行実態調査

当事業団職員が委員長となって進めてきた「高齢知的障がい者支援」に関する2つの調査について、下記のとおり報告書をまとめました。
なお、報告書は事業団ホームページからダウンロードすることができます。

実施団体	長野県社会福祉事業団 高齢者支援検討プロジェクト（事業団職員6名）		
目的	事業団利用者の退行 ^{*1} 現象を長期的・継続的に調査し、高齢者支援の方策を探るとともに、将来の事業展開も含めた検討・調査を行う。	調査結果に基づく提言 1. 現在の建物の環境改善、職員の配置⇒バリアフリー化と支援体制の整備 2. 高齢者の生活場所⇒高齢者支援に特化したハード・ソフト面の整備 3. 退行調査の継続⇒調査方法の見直し（継続の場合）	委員長からのコメント ●委員長：北澤和明（西駒郷） 今回の調査を通じ、事業団各事業所が高齢化に対する認識を持ち、ソフト・ハード面において具体的な取り組みを行っていることが分かりました。本年度は第3次長期構想の策定を行うため、今回の各調査結果も踏まえ、高齢知的障がい者支援に特化した新たな取り組みについても盛り込んでいきたいと考えます。
調査内容及び調査期間	①退行実態調査 H23. 4月～H26. 3月 ②高齢知的障がい者支援に関する実態調査 H27. 12月		



長野圏域高齢 知的障がい者支援 検討委員会調査

実施団体	長野圏域高齢知的障がい者支援検討委員会（長野圏域の5法人10名）		
目的	長野圏域の障がい福祉サービス利用者及び事業所の状況、課題を踏まえ、改善に向けた方策を策定し、行政や各施設に提言していく。	調査結果に基づく提言 1. 社会福祉施設のバリアフリー化助成事業の創設 2. 看護師の増員 3. 入院時支援体制の確保 4. 施設の医療対応レベル向上と医療型小規模入所施設の必要性 5. P T 指導実施方法の情報交換、改善の必要性 6. 利用者の障がい特性に応じた日中活動の提供の必要性 7. 保護者、職員に対する成年後見制度の研修、利用促進、保護者やその家族との意思疎通や交流の工夫の必要性 8. 24時間見守り型グループホーム、24時間認知症対応型グループホームの必要性	委員長からのコメント ●委員長：真鍋彰吾（水内荘） 本報告書が完成した時に思ったことは、「しっかりと現状を把握する調査の必要性とそれを基に未来に向けたビジョン、理想を持つことが大切」ということです。人は基本的に、生きるためだけに生きているわけではありません。高齢知的障がい者支援についても大きなビジョンを持ち、そのために行われる支援こそ、本当に意味のある支援と言えると思います。
調査内容及び調査期間	①本調査 H26.10月～11月 ②再調査 H27. 4月 (検討会5事業所のみ) ③別調査 H27. 5月～12月 (各領域ごとに随時実施)		

^{*1}「生涯の発達過程で、いったん獲得、到達した日常生活の適応水準が、何らかの要因で低下し、以前の獲得前の状態に戻る」と菅野敦「退行を示した青年期・成人期知的障害者に対する地域生活支援と社会参加の促進に関する研究」2005

平成28年度 組織概要

平成28年4月1日現在

【長野ブロック】

① みのちとう 水内荘
 ・施設入所支援事業（定員40人）、生活介護事業（定員60人）
 ・短期入所事業（併設型6人）、相談支援事業（一般・特定）

② みのちグループホームセンター
 ・共同生活援助事業（14ホーム 定員71人）

③ ふらり 歩楽里
 ・地域生活支援事業、相談支援事業（受託・一般・特定・障害児）
 ・放課後等デイサービス事業（定員10人）
 ・居宅介護事業（身体介護・家事援助・通院介助）、行動援護 ほか

④ やくもびより 八雲日和
 ・生活介護事業（定員25人）、就労継続支援B型事業（定員25人）

⑤ こはるびより 小春日和
 ・就労移行支援事業（定員6人）、就労継続支援B型事業（定員14人）

⑥ 長野市地域活動支援センターこぶし
 ・地域活動支援センター事業（定員15人）

ブロック長 小宮山 紀道（水内荘所長）
 副ブロック長 板倉 吉子（八雲日和所長）

【障がい者福祉センターブロック】

⑩ 長野県障がい者福祉センター「サンアップル」
 ・障がいのスポーツ・文化活動支援事業

⑳ 障がい者スポーツ支援センター長野「サンスポートながの」
 ・サンアップルの北信サテライト事業所

㉑ 障がい者スポーツ支援センター駒ヶ根「サンスポート駒ヶ根」
 ・サンアップルの南信サテライト事業所

㉒ 障がい者スポーツ支援センター松本「サンスポートまつもと」
 ・サンアップルの中信サテライト事業所

㉓ 障がい者スポーツ支援センター佐久「サンスポート佐久」
 ・サンアップルの東信サテライト事業所

ブロック長 関口 一道（障がい者福祉センター所長）
 副ブロック長 小林 善信（障がい者福祉センター総務課長）

【松本ブロック】

⑦ 信濃学園
 ・福祉型障害児施設入所事業（定員30人）
 ・短期入所事業（空床型）、日中一時支援事業
 ・施設入所支援事業・生活介護事業
 ※18歳以上対象、障害児入所事業の定員内で実施

⑧ 松本あさひ学園
 ・情緒障害児短期治療施設（入所30人、通所5人）

⑨ 松本ひよこ
 ・生活介護事業（定員21人）
 ・就労継続支援B型事業（定員18人）、相談支援事業（一般・特定・障害児）
 ・共同生活援助事業（4ホーム定員23人）
 ・重度障害者等包括支援事業（定員5人※生活介護事業、共同生活援助事業を含む）

ブロック長 佐藤 靖（信濃学園所長）
 副ブロック長 小島 健一（松本あさひ学園治療支援課長）

【上伊那北部ブロック】

⑩ ほっとグループホーム伊北
 ・共同生活援助事業（17ホーム 定員86人）、相談支援事業（特定）

⑪ ほっとグループホーム伊南
 ・共同生活援助事業（11ホーム 定員47人）

⑫ ほっと居宅
 ・居宅介護事業（身体介護・家事援助・通院介助）、行動援護、地域生活支援事業

⑬ 伊那ゆいま〜る
 ・生活介護事業（定員15人）、就労継続支援B型事業（定員20人）、相談支援事業（特定）

⑭ ほっとワークス・みのわ
 ・就労支援B型事業（定員20人）、相談支援事業（特定）

⑮ 辰野町障がい者就労支援センター「工房ぬくもり」
 ・就労継続支援B型事業（定員20人）、相談支援事業（特定）

⑯ 辰野町地域活動支援センター
 ・地域活動支援センター事業（定員20人）

ブロック長 滝 茂樹（ほっと居宅所長）
 副ブロック長 北澤 和明（ほっとグループホーム伊南所長）

⑭ 本部事務局

・事業団が経営する各事業所の管理運営における調整
 ・介護福祉士修学資金等貸付事業 ほか

【上伊那南部ブロック】

⑰ にしこまごう 西駒郷（駒ヶ根支援事業部、富田支援事業部）
 ・施設入所支援事業（定員125人）、短期入所事業（空床型）
 ・生活介護事業（定員160人）、自立訓練（生活訓練）事業（定員10人）
 ・就労継続支援A型事業（定員20人）
 ・就労継続支援B型事業（定員54人）、就労移行支援事業（定員6人）
 ・相談支援事業（一般・特定）、自活訓練事業

⑱ 上伊那圏域障がい者総合支援センター「きらりあ」
 ・相談支援事業（受託・一般・特定・障害児）、障がい児等療育支援事業
 ・発達障がいサポートマネージャー整備事業、障害者就業・生活支援センター事業 ほか

ブロック長 滝 茂樹（西駒郷所長） 副ブロック長 片桐 美登（上伊那圏域障がい者総合支援センター所長）

※兼務のある職員の所属・職名は主たる事業所を掲載

平成28年度 事業計画・収支予算書

1 第三次長期構想の策定

第二次長期構想を検証し、第三次長期構想を策定します。(構想期間：平成29年度から平成33年度)

2 地域ニーズを捉えた経営と経営の安定化

- (1)地域の福祉・住民のニーズに応えた事業展開を実施（セーフティネット機能の充実（短期入所、日中一時支援、放課後等デイサービス）、アール・ブリュット展の企画・実施、各種貸付事業受託、地域貢献活動の企画）します。
- (2)経営状況の管理強化（事業の進捗状況の報告は毎月、予算の執行状況の報告は四半期ごと）を行います。
- (3)自立支援給付費の単価アップが低迷する状況にあって収支バランスを考慮した経営を行います。
- (4)実情に合った報酬単価を受け取るため、障害福祉サービスの定員変更を行います。

3 職員の人権意識の向上

- (1)事業所又はブロック内の虐待防止委員会の活性化を図ります。
- (2)第三者委員活用の活性化と研修を実施します。
- (3)人権に関する研修への職員参加の徹底を図ります。

4 人材確保・育成の推進

- (1)募集及び採用方法の見直し（採用試験回数2回へ拡大）・就業条件の見直し（初任給等見直し）を行います。
- (2)キャリアパス制度の見直しを行います。

5 施設の安全性の確保

利用者及び職員の安全性を確保するための施設の改修及び設備の充実を図ります。

6 コンプライアンスの遵守

制度の改正に伴う各種規程・規則等の見直し（社会福祉法の改正に伴う定款等の変更）を行います。

平成28年度 長野県社会福祉事業団収支予算書

(単位：千円)

科目		本年度予算額	前年度予算額	増減	科目		本年度予算額	前年度予算額	増減		
事業活動による収支	収入	児童福祉事業収入	198,000	198,677	△ 677	施設整備等による収支	施設整備等補助金収入	62,350	65,020	△ 2,670	
		就労支援事業収入	104,341	100,395	3,946		収入	施設整備等収入計(4)	62,350	65,020	△ 2,670
		障害福祉サービス等事業収入	2,422,998	2,272,157	150,841		支出	設備資金借入金元金償還支出	20,883	22,518	△ 1,635
		その他の事業収入	312,465	806,517	△ 494,052			固定資産取得支出	435,094	147,176	287,918
		経常経費寄附金収入	5,230	250	4,980			施設整備等支出計(5)	455,977	169,694	286,283
		受取利息配当金収入	968	1,288	△ 320		施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 393,627	△ 104,674	△ 288,953	
		その他の収入	25,853	22,539	3,314		その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	504,446	211,274
	事業活動収入計(1)	3,069,855	3,401,823	△ 331,968	収入	その他の活動収入計(7)		504,446	211,274	293,172	
	支出	人件費支出	2,076,267	2,036,243	40,024	支出		積立資産支出	38,091	540,837	△ 502,746
		事業費支出	586,688	519,795	66,893			その他の活動支出計(8)	38,091	540,837	△ 502,746
		事務費支出	343,963	320,731	23,232			その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	466,355	△ 329,563	795,918
		就労支援事業支出	104,341	100,395	3,946	予備費支出(10)		5,557	0	5,557	
		支払利息支出	2,301	2,549	△ 248	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		2,770	△ 13,572	16,342	
		その他の支出	20,696	1,445	19,251	前期未支払資金残高(12)	410,592	392,985	17,607		
事業活動支出計(2)		3,134,256	2,981,158	153,098	当期未支払資金残高(11)+(12)	413,362	379,413	33,949			
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△ 64,401	420,665	△ 485,066								

平成27年度 事業報告

1 勤務評価制度の見直し

前年度クラス分けした「主任・係長」クラスの勤務評価の結果を本年度より人事・昇格・給与に反映させることとしました。

2 「信濃学園」及び「松本あさひ学園」の指定管理者再指定

県立2施設の指定管理に応募し、平成28年度から平成32年度まで（5年間）の指定管理者として再指定されました。

3 事業の拡大・改善等

事業所	内 容
ア 八雲日和	・就労継続支援B型事業の従たる事業所「うどん・おやき工房 さくら」の建設（H28.4.18開設）
イ 歩楽里	・新規事業として放課後等デイサービス事業を開始（H27.8.1、定員：10人）
ウ ほっとグループホーム伊北	・「加納住宅」の廃止（H27.6.6閉鎖） ・「花みずき」の開設（H27.6.6開設）
エ ほっとグループホーム伊南	・「竹村ハイツ」の廃止（H27.6.30閉鎖）
オ ほっとワークス・みのわ	事業所の移転に向けて上伊那郡南箕輪村に土地取得（H27.12.25）
カ 上伊那圏域障がい者総合支援センター	上伊那郡南箕輪村に事業所移転（H28.2.25移転）



上伊那圏域障がい者総合支援センター（移転後）



花みずき（ほっとグループホーム伊北）



うどん・おやき工房さくら（八雲日和）

4 マスコットキャラクターの作成

平成27年度長野県元気づくり支援金を活用し、マスコットキャラクター「ワトワくん」、「ワトワちゃん」を作成しました。

5 虐待防止の徹底

虐待防止体制整備委員会において、「利用者の虐待防止と対応マニュアル」を策定（H28.3）するとともに、各事業所において虐待防止委員会の開催や研修を行いました。

6 長野県社会福祉事業団50周年記念事業の開催

法人設立50周年を記念し、平成27年11月13日（金）にホテルメルパルク長野（長野市）において記念事業を行いました。（166人出席）



マスコットキャラクター「ワトワくん」



長野県社会福祉事業団50周年記念式典・祝賀会



人事異動

新規採用

(平成28年4月1日付)

水内荘 主事/稲田優(総務課)、米養士/藤澤彩(総務課)

歩栗里 主事/細井由幾(兼)

八雲日和 主事/細井由幾(兼)

小春日和 主事/細井由幾(兼)

信濃学園 支援員/西村健司

松本あさひ学園 支援員/若生千春

松本ひよこ 支援員/清野克芳、傳田奈央

ほっとグループホーム伊北 支援員/小池心平

辰野町障がい者就労支援センター 支援員/小尾博和

西駒郷 支援員/宮下望実(ひまわり支援課、竹入夏希(さくら支援課)、嶋田真理(さくら支援課)、南菜緒(さくら支援課)、上松祐奈(駒ヶ根日中支援課、征矢野有香里(まっぴ支援課、下島希望(わく富田)

上伊那圏域障がい者総合支援センター 支援員/丸山玲麻、松田佳大、東松多恵

事業所間異動等

(平成28年4月1日付)

本部事務局付 長野県障がい者スポーツ協会 専門幹/北沢好宏(障がい者福祉センター障がい者スポーツ支援センター)松本専門幹

水内荘 支援員/藤澤彩(松本あさひ学園支援員)

歩栗里 支援員/井浦麻梨(信濃学園支援員)

八雲日和 支援員/荒川俊(松本ひよこ支援員)

信濃学園 支援課係長/池田裕恒(信濃学園支援第二係長、主任支援員/小松聖司(ほっとグループホーム伊北兼ほっとグループホーム伊南主任支援員)、心理・支援員/小出千広(上伊那圏域障がい者総合支援センター心理・支援員)

松本あさひ学園 所長/岡田菊夫(色)、支援員/丸田かおり(西駒郷支援員)、相野田智昭(西駒郷支援員)、和田麻奈美(西駒郷支援員)

ほっとグループホーム伊北 支援員/奥村志穂(西駒郷支援員)

ほっとグループホーム伊南 係長/増田佳奈江(ほっとグループホーム伊南主任支援員)、支援員/松尾穂(西駒郷支援員)

伊那ゆいまゝる 支援員/山岸直子(西駒郷支援員)

西駒郷 管理部長/小澤聖(西駒郷駒ヶ根支援事業部長)、主事/下平直紀(西駒郷支援員)、支援員/

宮崎大樹(ほっとグループホーム伊南支援員)、駒ヶ根支援事業部長/宮下敦志(西駒郷まっぴ支援課長兼宮田相談室専門幹)、駒ヶ根日中支援課長/宮下敦志(兼、わく西駒課長/宮下敦志(兼)、駒ヶ根相談室専門幹/宮下敦志(兼)、支援員/斎藤さつき(ほっとグループホーム伊南支援員)、北嶋晃誠(ほっとワークス・みのわ支援員)、さくら支援課長/藤原香澄(西駒郷駒ヶ根日中支援課長)、主任支援員/新井孝尚(障がい者福祉センター主任、駒ヶ根日中支援課係長/矢沢久美(西駒郷主任支援員)、わく西駒係長/矢沢久美(兼)、わく宮田課長/今村秀枝(西駒郷わく宮田係長)、支援員/折井幸雄(信濃学園支援員)

障がい者福祉センター スポーツ課長/奥村賢三(再)、主事/薬袋剛章(西駒郷支援員)、指導員/加藤未有(西駒郷支援員)

(平成28年8月1日付) 松本ひよこ 専門員/小野沢真(ほっとグループホーム伊北所長)

ほっとグループホーム伊北 所長/北澤和明(西駒郷地域移行推進課長)、支援員/小河千折(兼)、松尾穂(兼)

西駒郷 地域移行推進課長/小澤聖(兼)、地域生活支援係長/小澤聖(兼)、自活訓練係長/小澤聖(兼)

派遣期間終了 (平成28年3月31日付)

信濃学園 主任精神保健専門員/小倉正浩(精神保健福祉センターへ)、教授/金塚孝司(須坂看護専門学校へ)

退職 (平成28年3月31日付)

信濃学園 主任支援員/宮尾由美、支援員/深川晴奈

松本あさひ学園 所長/岡村正人、次長兼総務課長/青樹令一、支援員/岩崎誠、宮澤愛

松本ひよこ 支援員/濱田多貴子、鈴木若菜

ほっとグループホーム伊北 支援員/宮澤澄恵

伊那ゆいまゝる 支援員/矢島慶一

西駒郷 課長/小林賢輝、支援員/芳川亜久里

(平成28年4月30日付) 歩栗里 支援員/石倉三鈴

(平成28年7月31日付) 西駒郷 支援員/嶋田真理

(平成28年8月31日付) 西駒郷 支援員/下島希望

(兼) 他職との兼務職員

(再) 退職後、再雇用職員等

トピックス

ザワメキアート?

2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた障がい者の芸術文化活動推進知事連盟の設立を踏まえ、長野県内における障がい者の文化芸術活動を促進するため、本年度より新たに「ザワメキアート～信州の障がいのある人の表現とアール・ブリュット～」を開催します。作品応募及び入選作品展等の詳細については実行委員会事務局(サンアップル内)まで(URL:zawameki-art.com)

八雲日和「うどん・おやき工房 さくら」開設

平成28年4月18日(月)に八雲日和の就労継続支援B型を移転し、新しい工房を開設しました。地域の方々に、ご協力、ご理解いただけることに日々感謝しながら、利用者、職員共に日々の作業をしていきたいと思っております。近くにお越しの際はお気軽にお立ち寄りください。 長野市豊野町豊野360-1 026-217-4123



プレゼント「八雲日和(やぐもびより)」



支援員 玉井 靖人からのメッセージ

八雲日和のドライフーズは昨年より販売を始めた「八雲うどん」、「八雲のお八季」に次ぐ第3の主力商品とすべく試行錯誤を重ねた商品です。

八雲日和の畑で育てた「ミニトマト」や地元豊野で収穫した「りんご」をじっくりと乾燥させパッケージしました。

お陰様で八雲日和、就労Bは4月に豊野町内へ「うどん・おやき工房 さくら」として移転開設し、日々、皆元気に作業に取り組んでいます。八雲日和の商品を、ぜひ一度ご賞味ください。

事業団だより「やまなみ」の感想や今後掲載してほしい内容等について、①郵便番号、②住所、③氏名、④電話番号を記載のうえメールまたは郵便はがきにて法人本部(事務局)までお寄せ下さい。11月末までにお寄せいただいた方の中から抽選で、「八雲日和」の「ドライフーズ詰め合わせ」を5名の方にプレゼントいたします。

なお、当選発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。(プレゼントの発送は12月頃を予定しています)



寄付申出者	寄付内容
長野プロダクション事業所協力会様	長野県 五〇〇万円
友田自動車株式会社様	プロダクション 軽トラ
信濃郵便局長協会様	水内荘 タイムハイゼット
信濃学園	水内荘 車椅子2台
ザビック山形店様	信濃学園 クリスマスケーキ
林信様(林玲子様兄)	西駒郷 シャンメリ、お菓子
林信様(林玲子様兄)	西駒郷 〇〇万円
林信様(林玲子様兄)	西駒郷 三〇万円
代表取締役北澤昇次様	西駒郷 大根野菜
駒ヶ根東中学校様	西駒郷 シクラメ等花
小原様(個人)	西駒郷 ソースかつ丼
明治亭様	西駒郷 クリスマスケーキ
ニザワシヨバズ様	西駒郷 衣類
赤穂高校様	西駒郷 衣類
駒ヶ根工業高校様	西駒郷 ソフト
池田様(個人)	西駒郷 ソフト
池上酒店様	西駒郷 ソフト
すずらハウス様	西駒郷 ソフト
北川製菓様	西駒郷 ソフト
マルラジ様	西駒郷 ソフト
小町屋東内科様	西駒郷 飲み物等

厚生労働省は障害者施設などの防犯対策に関するガイドラインを新たに作成する方針を固めました。当事業団の第3次長期構想策定にあたって、障がいのある人が「安心」「安全」に、そして「豊か」に暮らせるよう、検討を重ねたいと思います。(中村)

編集後記

掲載記事の内容等についてのお問い合わせ及びプレゼントの応募はこちらまでお願いします。



社会福祉法人
長野県社会福祉事業団

〒380-0928 長野市若里七丁目1番7号 長野県社会福祉総合センター5F
tel: 026-228-0337 fax: 026-228-0310
URL: http://park19.wakwak.com/~nagano-shafuku-j/